

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	スポーツ振興課		
	係名	スポーツ振興係		
	記入者		電話(内線)	612

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続			(2) 事務事業 の名称	専用サッカー場整備事業(体育施設設備整備事業)				(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ						(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)			
② 施策コード	43101	(総合計画掲載ページ)		123	ページ)		会計区分	一般会計			
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)						財源区分	国庫補助			
基本施策	4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進(スポーツ)						予算科目	款 10	項 6	目 2	
施策	①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実						予算書上の	体育施設設備整備事業費			
施策内容	1施設の有効活用						事業名称	(予算書 184 ページに掲載)			
(5) 事業期間							(8) 事務分類		自治事務		
	開始	平成	26	年	4	月から	根拠法令	結城市鹿窪運動公園施設の設置及び管理に関する条例等			
	終了	平成	29	年	8	月まで (4 カ年)					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
サッカー愛好者(サッカー場) 鹿窪運動公園利用者(ゴムチップ舗装ランニングコース)	・利用目的の8割程度がサッカーである現状を鑑み、施設利用者の拡大と施設機能の充実強化を図り、子ども達が伸び伸びとプレーできる施設とするため、また、「市民一人1スポーツ」、「成人週1スポーツ」の拠点として誰もが気軽に利用できる施設とするため、専用サッカー場として整備する。 ・グラウンド全面に天然芝を使用し、一般サッカーとしては1面、8人制少年サッカーとしては3面、11人制少年サッカーとしては2面での利用が可能となるほか、周囲にゴムチップ舗装した520mのランニングコースを設置する。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
【鹿窪運動公園多目的運動場整備事業】 ・平成26年度～平成27年度 多目的運動場活用検討委員会による検討 ・平成27年度 基本設計 【専用サッカー場整備事業】 ・平成28年度 実施設計 ・平成28年度～平成29年度 整備工事	鹿窪運動公園多目的運動場は、施設が整備されてから約30年を迎え、施設の老朽化とニーズの変化により、現在のニーズに合った活動環境の充実が求められていたため、平成26・27年度で鹿窪運動公園多目的運動場整備事業を実施し、利活用方法を検討した。そこで、専用サッカー場として整備する方針となり、本事業へ移行した。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
施設が整備されてから約30年を迎え、施設の老朽化とニーズの変化により、現在のニーズに合った活動環境の充実が求められている。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
実施計画							
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）	
事業内容		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費						
	検討委員会(委員謝礼)	150					
	基本設計委託料	3,305					
	実施設計委託料		2,832				
	整備工事		121,100				
	備品購入費		496				
	講師派遣委託料						
	合計	3,455	124,428				
財源	国庫支出金 (千円)						
	県支出金 (千円)						
	地方債 (千円)		55,400				
	その他特定財源 (千円)		50,000				
	一般財源 (千円)	3,455	19,028				
	合計 (千円)	3,455	124,428				
	補助・起債制度名		・スポーツ振興くじ助成金 ・県市町村振興資金				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	基本設計・実施設計・整備工事	目標値			実施設計・整備工事	整備工事		
		実績(見込)値		基本設計				
	開場記念イベント開催	目標値				1		
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	整備	目標値			工事実施	→→→ 完了		
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			
	開場	目標値				8月開場予定		
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。				
平成26・27年度で実施した「鹿窪運動公園多目的運動場整備事業」による検討結果を踏まえ、専用サッカー場として整備する。改修工事は都市計画課で行う予定であったが、補助金等の関係から、また、スポーツ施設としてより良いものにしていくため、引き続きスポーツ振興課で事業実施する。				
(2) 項目別評価				
評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	施設の老朽化とニーズの変化に対応する必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	市の施設であり行政が実施すべきである。
	手段の妥当性	A	妥当である	一般的な手法である。
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	入札により事業費の削減を図る。
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	利用目的が限られるが、現在の利用状況と大きな差異は出ないと考えられる。
有効性	成果の向上	A	上がっている	検討段階から、着実に事業を進め、整備方針を決定した。
進捗度	事業の進捗	A	順調である	当初のスケジュールから遅れはない。
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。				
・使用に関する規則や、施設の在り方について十分に検討し、方針をまとめる。 ・原則的にはサッカー専用の施設となるため、お知らせ版等による事前の周知を十分に行う必要がある。				
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？				
・平成29年度の開場をもって本事業は終了する。 ・開場以降は、鹿窪運動公園内の施設として、指定管理者である結城市文化・スポーツ振興事業団で管理運営する。				

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	専用サッカー場化及びゴムチップ舗装によるランニングコース設置により、現状の利用者の利便性を高めるとともに、新たな利用者の増加や、内外に向けたスポーツ振興のアピールを図る。また、入札や備品の継続使用などにより、経費削減に努める。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。